

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会について

令和5年度部会長

横須賀市立北下浦中学校

松山 雅彦

The screenshot shows the homepage of the Kanagawa Prefecture Public Junior High School Education Research Association, Technology and Home Economics Research Department. The header features the organization's logo and name in Japanese. The navigation menu includes links for '研究会について', '委員会活動', '事業計画', 'ものづくりフェア', '問い合わせ', and '事務局専用'. The main content area displays a night view of the Rainbow Bridge in Yokohama with the text 'ものづくりは人づくり' and the website URL 'gikaken.com'. A footer message reads 'ようこそ、神奈川県 技術・家庭科研究部会のホームページへ'.

神奈川県公立中学校教育研究会
技術・家庭科研究部会

事務局長
横浜市立旭北中学校 松山弘子

研究会について 委員会活動 事業計画 ものづくりフェア 問い合わせ 事務局専用

ものづくりは人づくり
gikaken.com

ようこそ、神奈川県 技術・家庭科研究部会のホームページへ

(1) 令和5年度 県技・家研(略) 活動方針について

(2) 第53回県総会 県央地区 5月19日綾瀬市オーエンス文化会館にて実施

※規約改正

※記念講演 神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 三栖貴行教授

(3) 全日中理事会報告 ハイブリッド開催

・全日中事業・予算等承認 両調査官から「研究会に求めるもの」について指導

(4) 関プロ群馬大会・全日中静岡大会について

(5) 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわ 11月4日(土)参集型開催

(6) 全国フェアへの協力体制について

(7) 創立50周年式典・記念行事について

(8) その他

・全日中からの案内について

・県技・家研(略)ホームページについて

・プログラミングコンテストの紹介と参加者募集について

(1) 令和5年度 県技・家研(略) 活動方針について

(2) 第53回県総会 県央地区 5月19日綾瀬市オーエンス文化会館にて実施

※規約改正

※記念講演 神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 三栖貴行教授

(3) 全日中理事会報告 ハイブリッド開催

・全日中事業・予算等承認 両調査官から「研究会に求めるもの」について指導

(4) 関プロ群馬大会・全日中静岡大会について

(5) 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわ 11月4日(土)参集型開催

(6) 全国フェアへの協力体制について

(7) 創立50周年式典・記念行事について

(8) その他

・全日中からの案内について

・県技・家研(略)ホームページについて

・プログラミングコンテストの紹介と参加者募集について

研究会の目的

(会則 第1・2章 第3・5条)

第3条

本会は本県の中学校技術・家庭科振興と会員相互の向上親和をはかることを目的とする。

第5条

本会の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

1. 技術・家庭科教育の振興に関すること。
2. 関係機関並びに団体との連絡提携。
3. その他必要と認められた事項。

研究会の目的

(会則 第1・2章 第3・5条)

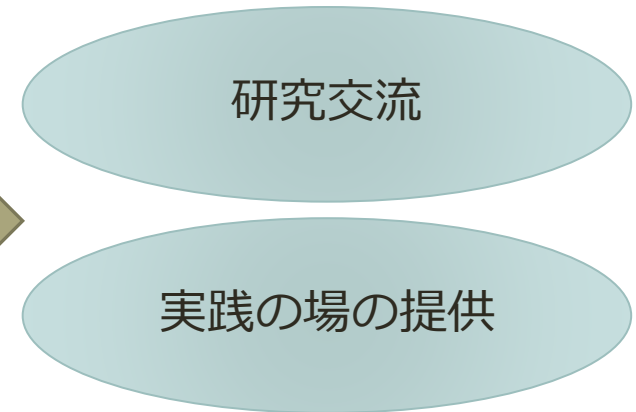
第3条

本会は本県の **中学校技術・家庭科振興と会員相互の向上親和**をはかることを目的とする。

第5条

本会の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

1. 技術・家庭科教育の振興に関すること。
2. 関係機関並びに団体との連絡提携。
3. その他必要と認められた事項。



研究部会の課題

○専門性の担保や安定した教科経営の面での課題

（臨任・非常勤・他教科臨免・再任用担当者の増加）

→都市町村では、研究組織が成立しない実態も・・・

○他教科を担当している教員、技術分野の方が家庭分野の指導、逆に家庭分野の方が技術分野の指導をするケースもかなり増えてきている。

→3学年を担当し、さらに他教科・・・テストを何種類も作る状況

○研究の経験者の不在（教職員の年代構成の歪み）

→いざ研究実践をする時に、研究の経験者が不在・・・。

○時代とともに変わる「技術・家庭科」の内容の変遷に取り残されてしまっている状況も・・・。（「ものづくり」から「問題解決」「イノベーション人材育成」）

※時代を見据えた教育内容への転換・・・Chat GPTの実用段階は目前？！

研究会の事業（1）

【研究交流】

- ①地区研究を土台として、県内各地区における研究実践の収集を行う。
- ②技術・家庭科の課題解決のための研修の設定
- ③すぐれた研究実践の提供と広報
(関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会・全日本中学校技術・家庭科研究大会)
- ④実践に役立つ資料の収集と提供

研究会の事業（1）

【研究交流】

①地区研究を土台として、県内各地区における研究実践の収集を行う。

研究委員会

②技術・家庭科の課題解決のための研修の設定

夏季研修会

③すぐれた研究実践の提供と広報

会報委員会

（関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会・全日本中学校技術・家庭科研究大会）

④実践に役立つ資料の収集と提供

調査web委員会

研究会の事業（2）

【実践の場の提供】

- ①技術・家庭科の教育実践によって得た知識や技能を発揮する場の提供
及び大会の運営

- ②技術・家庭科教育実践の交流の場の保障

研究会の事業（2）

【実践の場の提供】

- ①技術・家庭科の教育実践によって得た知識や技能を発揮する場の提供
及び大会の運営

フェア委員会を中心に全員で・・・

全国中学生創造ものづくり教育フェア（今年度で23回目）
神奈川県運営（おべんとうコンクール・プログラミングコンテスト）

- ②技術・家庭科教育実践の交流の場の保障

創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会・全国大会での交流
関ブロ研究大会・全日中研究大会での実践交流や作品展示を通しての
教職員の力量向上



過去のフェアの展示から





過去のフェアの展示から

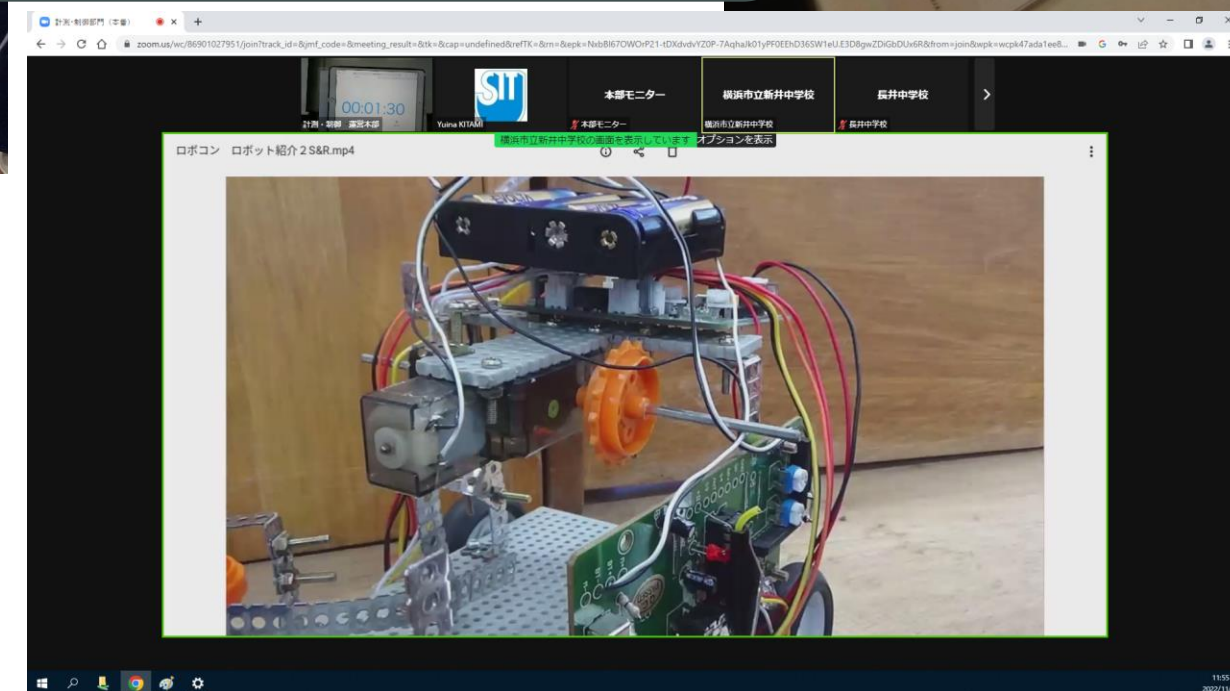
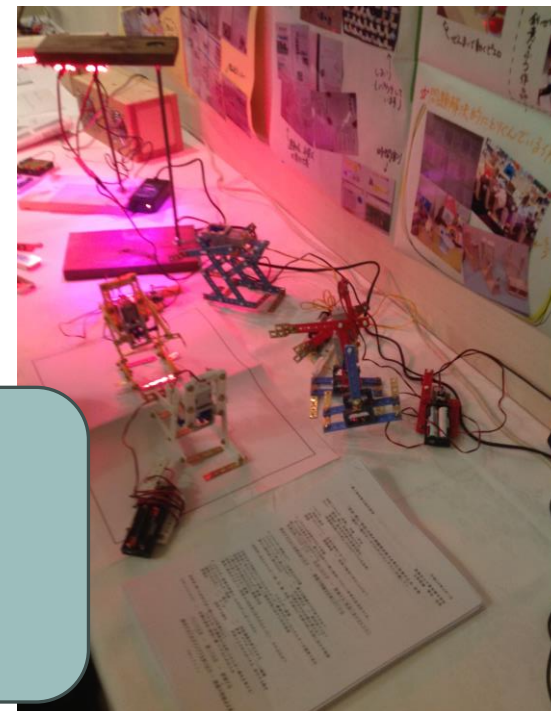
過去のフェアの競技

・ 展示から



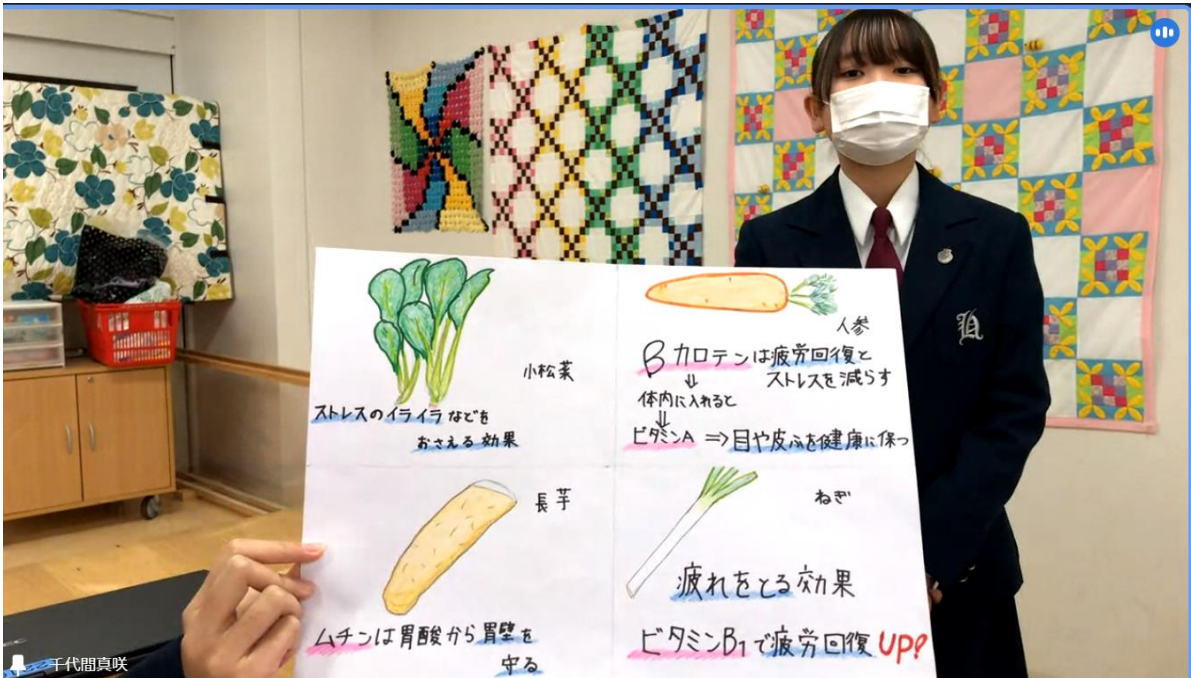


過去のフェアの競技・ 展示から





昨年度のフェアの競技から



研究会創立50周年事業

今年、当研究会は発足から51年目を迎えました。この節目にあたり、次の事業を予定しています。

①「神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会創立50周年式典・研究交流会」を開催します。（令和5年9月8日金曜日 14:30～）

②「全県技術・家庭科担当者名簿」の作成

③「研究集録」を「臨時免許で授業をしている方が参考にできる実践例（仮称）」というテーマで収集する。

④記念誌「フェアの歩み」を編さんします。

※このため、通常の事業を縮小し、記念事業に取り組みます。



式典会場
湘南工科大学
カンファレンスホール

研究会創立50周年事業

今年、当研究会は発足から51年目を迎えました。この節目にあたり、次の事業を予定しています。

第3回常任・合同委員会を兼ねる形です

①「神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会創立50周年式典・研究交流会」を開催します。（令和5年9月8日金曜日 14:30～）

②「全県技術・家庭科担当者名簿」の作成

調査web委員会

③「研究集録」を「臨時免許で授業をしている方が参考にできる実践例（仮称）」というテーマで収集する。

研究委員会

④記念誌「フェアの歩み」を編さんします。

会報委員会・フェア委員会

※このため、通常の実業を縮小し、記念事業に取り組みます。

研究会の組織と事業について

研究会組織

今年度は79名で運営をしていきます。

【役員】 部会長 1名 ・ 副部会長 5名 ・ 顧問 1名

【事務局】 研究部長（技術部長・家庭部長） 2名

書記（うち1名事務局長、1名フェア事務局長） 6名

会計 1名 （令和5年度）

【委員】 常任幹事（部会長・副部会長の出していない地区の代表者） 1名

幹事（県内郡市町村の代表者：委員等兼任の方も） 19名（兼任5）

研究委員（技術分野・家庭分野） フェア委員（技術分野・家庭分野）

会報委員 調査web委員 各地区1名×8地区×6委員会 = 48名

研究会事業

- ①総会 5月19日（金） 終了 ※来年度は令和6年5月17日（金）
- ②常任・合同委員会 年間5回 （6月・7月・9月・10月・2月）
- ③夏季研修会 【技術分野】 8月7日（月）藤沢市立第一中学校
【家庭分野】 8月1日（火）独立行政法人国民生活センター相模原事務所
- ④中学校技術・家庭科 全国中学生創造ものづくり教育フェア
 - ・県大会（inかながわ） 11月3日（祝）：準備 4日（土）：当日
 - ・関東大会（栃木） 12月2日（土）：ルール確認 3日（日）：競技
 - ・全国大会（東京） 令和5年1月20日（土）～21日（日）
- ⑤研究大会 関東甲信越地区 11月2日（木）（群馬大会：一部オンデマンド開催）
※神奈川県への参加要請数 110名
全国大会（静岡大会） 11月9日（木） 10日（金）

研究会の委員として

○県内8地区 **ご自分の背負っている学校数を認識してください。**

横浜146 川崎52 相模原36 (3政令市)

横三 (横須賀23・三浦3・逗子3・三浦郡2)

湘南 (鎌倉9・藤沢19・茅ヶ崎13・高座郡3)

県央 (大和9・座間6・海老名6・綾瀬5・厚木13・愛甲郡5)

中 (平塚15・伊勢原4・秦野9・中郡4)

県西 (南足柄3・足柄上郡5、小田原11・足柄下郡3)

○**年間5回**の委員会は重要な連絡調整の場となります。

○常任幹事は**地区をまたいでの調整役**、幹事は**市町村とのパイプ役**。

やむを得ずご欠席の場合には管理職を通じて「地区副部会長・常任幹事」へご連絡を。

規約改正による変更点（移行期）

- 令和6年度から、新規約による委員会構成がスタートします。
 - ・各支部の技術・家庭科担当の管理職を報告する。（合同委員会不参加）
→令和6年度の役員選考委員の候補となります。
- 役員・委員選考委員会：現常任幹事・幹事の管理職から横浜1、川崎1、相模原1、県域若干名を部会長が委嘱。3月末に開催。
※令和6年度総会において「役員」を承認する。
- 地区の委員選考：「研究（技術）・研究（家庭）・フェア（技術）・フェア（家庭）・広報（問わず1～2名）」を選考する。
- 細則2、別表2に定められた単位で、選考した委員の中から「幹事」を兼任する委員を選考する。（地区代表としての位置づけ）

部会長としてのねがい

- 研究会活動を通して自分の「授業」が変わる
研究会の資料や会報、webでの発信によって経験の少ない先生や
臨免の先生の「授業」が変わる
- 授業が変わると「生徒」が変わる
- 生徒が変わると「学校」「地域」が変わる

研究会の活動を通じて、「技術・家庭科教育」の有用性をアピールするために、限られた機会を大切にしていただければと思います。



神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究会の研究活動を通じて 実現していきたいこと

令和5年度の1年間、皆様に支えていただきながら、各地区の技術・家庭科教育の充実と発展を通じて、**未来の人材育成を図るとともに、子どもたちの輝く場面を作っていきたい**と思います。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

